

■英国：インバランス決済制度の見直し案を発表

英国のガス・電力市場局（OFGEM）は2013年7月30日、現行のインバランス価格が需給調整設備（電源、需要反応サービス、蓄電技術など）への投資に対して適切な価格シグナルを与えていないことなどを理由に、インバランス決済制度の見直し案を発表した。同案によると、見直しは（1）限界価格費用をもとにインバランス価格を算定すること、（2）インバランス価格算定の際に停電の社会的損失費用（VoLL：Value of Loss Load）を考慮すること、（3）待機設備（リザーブ設備）の価値をインバランス価格算定に反映すること、（4）現在のデュアル価格制からシングル価格制へ変更することの4点が挙げられている。英国ではインバランス決済制度に関する見直し作業が2007年から本格的に実施されていた。OFGEMは2013年10月22日まで見直し案に対するコンサルテーションを受け付け、最終案を2014年春に発表する予定である。